三 溪 園

三 渓 園 の あ ら ま し

面　　積　　191,727 m²
建 造 物　　昭和6年国宝指定、昭和25年重要文化財指定
管　　理　　財団法人　三 渓 園 保 勝 会

三渓園はかつて横浜財界の雄として知られた故原富太郎翁によつて造られた純日本式庭園で、明治39年5月に開園されました。園内には数多くの重要文化財建造物ならびに古建築物が地形に応じて配されている点が特色であります。

この庭園は内苑と外苑とに分れ、内苑には江戸初期の代表的な大名別荘建築臨春閣、二重楼の聴秋閣、茶席春草盧、桃山時代の天瑞院寿塔、月華殿、室町時代の天授院があり、外苑には室町時代の旧東慶寺仏殿、旧燈明寺三重塔、江戸中期の民家旧矢箆原家住宅があります。